



# 地域まちづくり方針

## 地域まちづくり方針の概要

### ○ 策定の趣旨

「地域まちづくり方針」は、地域の個性や特色に応じて将来に持続可能なまちづくりに向け、それぞれの地域のまちづくりの方向性を示すものです。

上田市自治基本条例に掲げる「参加と協働\*」、「地域内分権\*の推進」の基本理念を踏まえ、市民、地域コミュニティ、行政等がそれぞれの地域特性を理解した上でまちづくりを推進するため、本方針を総合計画に位置付けることとしています。

### ○ 地域区分

地域協議会の設置区域に基づき、5つの地域区分ごとに策定します。

| 地域の名称  | 地域協議会     | 区域                             |
|--------|-----------|--------------------------------|
| 上田右岸地域 | 上田右岸地域協議会 | 東部、南部、中央、北部、西部、塩尻、神川、神科、豊殿地区   |
| 上田左岸地域 | 上田左岸地域協議会 | 城下、川辺・泉田、中塩田、東塩田、西塩田、別所温泉、川西地区 |
| 丸子地域   | 丸子地域協議会   | 内村、丸子中央、依田、長瀬、塩川地区             |
| 真田地域   | 真田地域協議会   | 長、傍陽、本原地区                      |
| 武石地域   | 武石地域協議会   | 武石地区                           |

※「上田右岸地域協議会」と「上田左岸地域協議会」は、令和8年度から「上田地域協議会」に統合

### ○ 地域まちづくり方針の構成

#### (1)地域の特性

自然、歴史・文化、生活環境、土地利用の状況などを示します。

#### (2)まちづくりの基本的な方向性

地域の特性を踏まえたまちづくりの基本的な方向性を示します。

#### (3)取組の方向性

① 地域のまちづくりの基本的な方向性に基づき地域で実施する取組の方向性を示します。

② 地域ごとの取組をわかりやすくするため、「まちづくり組織(住民自治組織)」ごとの取組を示します。

### ○ 策定手順

地域まちづくり方針は、市長が各地域協議会に諮問し、地域協議会での検討を経て答申された内容を尊重し総合計画に掲載しています。

諮問:令和6年10～11月

答申:令和7年 1～2月

### ○ 期間

第三次上田市総合計画の計画期間に合わせ、令和8年度から令和17年度までの10年間とします。ただし、基本計画の目標年度(令和12年度)に合わせて、地域まちづくり方針についても見直しを検討します。

## 上田右岸地域

### ■ 地域の特性

1. 上田駅、上信越自動車道上田菅平インターチェンジを擁する本市の玄関口
2. 地域南部を国道18号としなの鉄道線および新幹線が通過し、駅周辺および国道沿いに商業施設が立地
3. 古くは養蚕業が栄え、史跡上田城跡や信濃国分寺、旧北国街道の歴史的建造物などのほか、各地域の祭り・行事等、本市を代表する歴史的遺産・文化を擁する地域
4. 行政機関や医療機関、高等学校・大学、大型商業施設などの都市機能の集積
5. 地域東部には千曲川に合流する神川が流れ、その周辺部には、水稻、果樹栽培を中心とした農地が広がり、太郎山、稲倉棚田などの自然資源を有する反面、耕作放棄地の増加等による宅地化が進み、宅地と農地の混在化が進行



### ■ 発展の方向性 〈まちづくりの基本的方向性〉

1. 玄関口としての都市機能の充実と市街地の活性化を総合的に推進します。
2. 歴史的資源や豊かな自然環境を保全・活用した賑わいと交流の拠点を目指します。
3. 大規模災害等への対応力の強化を図り、市民が安心して安全に暮らせるまちづくりを推進します。
4. 農地の保全と地域の特性を生かした居住環境の形成を図りながら、道路・公共交通など交通環境整備を進め、快適で利便性の高いまちづくりを推進します。
5. 人口減少・少子高齢化時代に対応した、将来に向け持続可能なコンパクトなまちづくりを推進します。

#### 〈取組の方向性(取組の視点)〉

| 取組の内容                   | 視点・要素   |
|-------------------------|---|
| 市の核となる都市機能の充実と中心市街地の活性化 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 中心市街地の賑わい創出と交流文化施設周辺と融合したまちづくり</li> <li>・ 空き家・空き店舗対策を含めた市街地の活性化と商業・観光の振興</li> </ul>                                      |
| 歴史的遺産、地域の特色を生かしたまちづくり   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 歴史的遺産の価値を再認識し調和を図り、誇りを持てるまちづくり</li> <li>・ 農民美術や上田紬などの伝統工芸や地場産業の振興、商工業の発展</li> </ul>                                      |
| 自然環境の保全と共生によるまちづくり      | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 千曲川をはじめとする神川、矢出沢川などの水辺空間や、染屋台の斜面樹林など河岸段丘の保全</li> <li>・ 里山や水環境、公園・緑地など自然とのふれあいの場を整備し、自然を活かした地域の活性化</li> </ul>             |
| すべての人々にとって安全・安心なまちづくり   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 令和元年東日本台風の経験を踏まえた住民の安全意識の高揚、地域ぐるみの安全体制を推進</li> <li>・ 防災備蓄品の充実や、自主防災マニュアルの整備</li> <li>・ 安定した医療が受けられる環境整備</li> </ul>       |
| 地域の振興と資源の活用             | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ インターチェンジに近い立地を生かした土地の有効利用</li> <li>・ 稲倉の棚田・クライנגアルテン*を利用した地域間交流の推進</li> <li>・ 産学官連携支援施設との連携による新技術等の創出、地産地消の推進</li> </ul> |
| 地域内交通の充実                | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 公共交通や住民共助による移動支援の取組の推進</li> </ul>  |
| 次代を担う子どもたちの健全育成         | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 共働き世帯の増加等に対応した放課後児童対策の推進</li> <li>・ コミュニティスクール*など、地域ぐるみの子育て支援の充実</li> </ul>  |

## 地域内で活動している住民自治組織

### ◆ 南部まちづくり協議会 [令和5年2月20日設立]

#### 【地域の課題】

- ・人口減少・少子高齢化
- ・地域住民同士のつながりの希薄化
- ・住民自治組織と自治会活動との役割分担

#### 【まちづくりのテーマ・ビジョン】

- ・アンケート結果を基に、今後作成予定

#### 【主な取組分野(予定を含む)】

- ・防犯活動(パトロールなど)
- ・住民相互の交流事業
- ・防災訓練、備蓄品の充実

### ◆ 上田市北部地区まちづくり協議会 [令和3年11月28日設立]

#### 【地域の課題】

- ・高齢者のみ世帯や独居者の増加
- ・伝統行事の継承・継続(祇園祭など)
- ・自治会の担い手不足、役員の負担増、未加入者の増加など
- ・防災と災害時の対応
- ・空き家の増加

#### 【まちづくりのテーマ・ビジョン】

- ・安全で災害に強いまちづくり
- ・次世代に残す"住みやすさ"と"美しい里づくり"
- ・「文化と歴史」の保存と継承・発展

#### 【主な取組分野(予定を含む)】

- ・防災対策(計画策定、パンフレット作成)
- ・地域の魅力(歴史・文化)再発見
- ・河川環境保存・整備(矢出沢川、押出川、黄金沢など)
- ・自治会との連携強化

### ◆ 神川まちづくり委員会 [令和元年6月16日設立]

#### 【地域の課題】

- ・地域内の各種団体との連携
- ・健康づくり意識の向上
- ・地域防犯力・防災力の向上
- ・千曲川、神川等の自然環境や地域の環境保全

#### 【まちづくりのテーマ・ビジョン】

- 《歴史・文化・人・暮らしを守るまちづくり》
- ・住民課題(ニーズ)を的確に把握し、社会情勢にも合わせた事業を展開

#### 【主な取組分野(予定を含む)】

- ・防災マップの作成と防災用資器材整備
- ・神川講座(地域の歴史・文化)
- ・神川地域内移動支援事業

### ◆ 西部地域まちづくりの会 [平成30年6月26日設立]

#### 【地域の課題】

- ・空き家、有休荒廃地の増加
- ・災害時の避難所の確保、運営
- ・少子高齢化、孤立高齢者の増加
- ・地域コミュニティの希薄化
- ・世代間交流の不足

#### 【まちづくりのテーマ・ビジョン】

- ・安全で安心かつ、健康で住みやすいまちづくり
- ・伝統文化、自然環境を後世に継承
- ・子どもたちの育成

#### 【主な取組分野(予定を含む)】

- ・環境整備事業
- ・デジタルマップ作成
- ・防災講演会、備蓄品の購入
- ・コミュニティスクール\*実施
- ・異世代ふれあい事業 など

### ◆ 神科まちづくり委員会 [平成28年5月22日設立]

#### 【地域の課題】

- ・放課後児童対策
- ・道路環境整備
- ・生活の移動困難者(高齢者)対策

#### 【まちづくりのテーマ・ビジョン】

- ・上信越自動車道 上田菅平インターチェンジに近い地理的条件を生かした産業振興・観光振興
- ・安心・安全なまちづくり

#### 【主な取組分野(予定を含む)】

- ・防災倉庫設置と装備の充実
- ・電話でお金詐欺対策
- ・通学路へのカーブミラー設置
- ・子ども食堂
- ・高齢者の移動支援

### ◆ 豊殿まちづくり協議会 [平成28年7月16日設立]

#### 【地域の課題】

- ・住民の生活移動対策
- ・人口減少
- ・農家の後継者不足

#### 【まちづくりのテーマ・ビジョン】

- ・地域資源を活かした産業振興、観光振興、地域間交流
- ・地域内交通の整備

#### 【主な取組分野(予定を含む)】

- ・稲倉の棚田の振興支援
- ・デマンド交通による移動支援
- ・土地の有効活用計画策定
- ・医療機関(施設)の充実活動
- ・市民の森活性化事業

※「東部地区」、「中央地区」は、令和7年度現在住民自治組織の設立に向けて検討中

## 上田左岸地域

### ■ 地域の特徴

1. 国道143号、主要地方道上田丸子線などの幹線道路と別所線が走り、道路沿いには商業系施設が立地
2. 信州の鎌倉と称され日本遺産の認定を受けた塩田平、別所温泉をはじめ、室賀温泉さらの湯などの温泉地や神社仏閣、上田原古戦場など多くの史跡・文化財の観光資源が集積し、東山道に由来する古刹が多く点在
3. 自然運動公園（塩田運動公園）、県営上田野球場、上田古戦場テニスコートをはじめとするスポーツ施設が集積
4. 全国有数の日照時間と、豊かな農地、ため池、森林を有する自然あふれる田園地帯
5. 林間工業団地における企業の集積と、複数の大学・研究施設が立地
6. 幹線道路沿いに人口が集中し宅地化が進む一方、空き家の発生や、農地と宅地の混在、担い手の減少による農地の荒廃化などが課題



### ■ 発展の方向性 〈まちづくりの基本的方向性〉

1. 豊かな自然や農地を保全するとともに、住環境の整備等、秩序ある土地利用を進めます。
2. 公共交通の利用促進を図るとともに、渋滞緩和や歩行者・自転車などの安全性や環境（カーボンニュートラル等）に配慮した、交通環境整備を進めます。
3. 貴重な史跡・文化財を保全し、次世代へ継承するとともに、観光資源を活用した魅力あるまちづくりを進めます。
4. 大学・研究施設、企業の立地を生かした産学官連携事業や販わいの創出を推進します。
5. 健康で文化的な生活や次世代の健全育成および定住促進に向けた活動を推進します。
6. 地域内の企業、大学等、農・商・工業団体、住民が連携し、各主体の特性を生かしながら持続可能なまちづくり（循環型社会の構築）を推進します。

#### 〈取組の方向性(取組の視点)〉

| 取組の内容                 | 視点・要素  |
|-----------------------|--|
| 地域防災力の向上による災害に強いまちづくり | ・自治会、住民自治組織など関係機関が連携した広域的防災力の向上による大規模災害への対応の強化             |
| 都市機能を生かした利便性の良いまちづくり  | ・住みよい、魅力ある地域を持続していくため、利便性の高い交通機能、企業や商業系施設など都市機能の推進         |
|                       | ・日常生活の利便性を高めるための生活道路の整備推進                                  |
|                       | ・安心して暮らしていくための医療の確保  |
| 史跡・文化財の保全の推進          | ・保護保全に取り組む地域団体との連携の促進、道路・遊歩道などの整備による史跡・文化財の活用の推進           |
| 地域特性を生かした観光振興         | ・別所温泉などの観光資源を生かし、別所線の活用などによる誘客の促進                          |
| 自然環境を守り、生かした地域づくり     | ・住民自治組織や地域内の各種団体が連携し、地域の歴史・文化・自然などを生かした活動の推進               |
| 農業を主体とした産業の振興         | ・鳥獣被害対策等による優良農地の保全、耕作放棄地の利活用の推進、農林業の担い手確保と農地・森林など地域資源の有効活用 |

## 地域内で活動している住民自治組織

### ◆ 城下まちづくり未来会議 [平成29年6月17日設立]

#### 【地域の課題】

- ・農地と宅地の混在、農地の荒廃、農地と山林の維持管理
- ・宅地化が進む中で、空き家の増加
- ・生活道路の整備、防災対策

#### 【まちづくりのテーマ・ビジョン】

- ・活力あふれ、生活を支えるまちづくり
- ・ともに支え合うまちづくり
- ・安全安心なまちづくり

#### 【主な取組分野(予定を含む)】

- ・あいさつ・声かけ運動
- ・消防まつり
- ・防災関連資機材の充実(防災倉庫・防災備品整備)

### ◆ 川辺泉田まちづくり協議会 [平成29年5月30日設立]

#### 【地域の課題】

- ・公共交通の地域間格差(通学・買い物・通院支援)
- ・宅地化の進行、空き家・空き店舗の増加
- ・住民と地元企業・店舗とのマッチング

#### 【まちづくりのテーマ・ビジョン】

- ・安心して住んで良し、訪れて良しの魅力あるまちづくり
- ・原風景の残る豊かな自然の保全
- ・公共交通機関を利用した生活利便性の向上と、地域交通の構築

#### 【主な取組分野(予定を含む)】

- ・川辺泉田地域活性化事業
- ・みんなの「かわせん交通」運営事業
- ・地域商業店舗活性化事業
- ・地域活動団体の発掘と支援

### ◆ 塩田まちづくり協議会 [平成29年6月4日設立]

#### 【地域の課題】

- ・防犯対策、交通安全の推進
- ・少子高齢化対策、地域内支え合い意識の醸成
- ・文化財の未来への承継
- ・文化財や観光資源を生かした地域振興
- ・豊かな景観や生態系の保全と空き家や遊休農地の活用

#### 【まちづくりのテーマ・ビジョン】

- 《誰もが安心して住み続けたい塩田地域》
- ・災害に強く、犯罪や交通事故のないまちづくり
- ・住民の健康を守り、困ったときに支え合えるまちづくり
- ・文化財等のふるさとの魅力をも未来につなげるまちづくり
- ・里山やため池などの地域資源を生かしたまちづくり
- ・自然環境や景観を大切に、保全していくまちづくり

#### 【主な取組分野(予定を含む)】

- ・指定避難所運営マニュアル作成
- ・高齢者のための健康体操
- ・塩田平の文化財「かるた」作成
- ・ため池に自生する希少植物の保護活動
- ・有害外来植物繁茂マップ作成

### ◆ 川西まちづくり委員会 [平成28年3月22日設立]

#### 【地域の課題】

- ・山林や水辺の自然保護、鳥獣被害防止対策等による優良農地保全
- ・生活用品購入や交通手段の確保、福祉医療サービスの充実
- ・地域ぐるみの子育て支援、少子化過疎化対策
- ・災害に強いまちづくり

#### 【まちづくりのテーマ・ビジョン】

- ・地域住民、子どもや高齢者が安心して暮らせるまちづくり
- ・森林や河川、田園に囲まれた美しい風景や里山などの自然環境を守る活動
- ・地域資源の有効活用と、歴史・文化・伝統を守り後世に伝える活動

#### 【主な取組分野(予定を含む)】

- ・暮らしの便利リスト、健康交流さんぽマップ作成・配布
- ・地域文化等に関する地元愛喚起のための「川西紀行」発行
- ・防災ハンドブック、マイ・タイムラインの作成・啓発
- ・蝶の舞う里として地域をブランド化

## 丸子地域

### ■ 地域の特徴

1. 依田川を中心に、水と緑の豊かな自然環境に恵まれた地域
2. 国道152号や254号が通る交通の要衝
3. 高い技術力を持つ製造業の集積地
4. 丸子温泉郷や信州国際音楽村、梶子ワイナリーなどの観光地が点在
5. 地域の中心部には都市機能が集積し、沿道型市街地を形成



### ■ 発展の方向性 〈まちづくりの基本的方向性〉

1. 地域協議会、住民自治組織、自治会が連携して、参加と協働\*による住民自治を推進します。
2. 地域内外とのアクセス向上と、住民の身近な公共交通の維持による、便利で迅速な交通ネットワークを整備します。
3. 観光を中心とした地域資源を生かした新たな産業を創出します。
4. 次世代を担う子どもを産み育てられる環境づくり、安心して暮らせる災害に強い地域づくりを推進します。
5. 多様な人材・団体と連携し、地域資源を活用した生涯学習\*、文化・スポーツ活動を推進します。

#### 〈取組の方向性(取組の視点)〉

| 取組の内容                       | 視点・要素  |
|-----------------------------|--|
| ①参加と協働による住民自治の推進            | ・多様化する地域課題に対応するため、地域協議会、住民自治組織、自治会が連携し、地域の実情にあった市民協働によるまちづくりの推進                |
|                             | ・内村、丸子中央、依田、長瀬、塩川各地区の特色と資源を生かし、魅力を高め、住みたい・住み続けたいと思える地域づくりの推進                   |
|                             | ・公共施設の用途廃止に伴う西内・平井地区の活性化および老朽化が進む丸子地域の公共施設のあり方を検討                              |
|                             | ・梶子ワイナリーを核とした、陣場台地一円の整備と地域活性化を推進   |
| ②便利で迅速な交通ネットワークの整備による地域の活性化 | ・国道254号バイパスおよび現道改良整備促進と、国道152号丸子バイパスの早期事業化を国や県に働きかけによる、「上田地域30分(サンマル)交通網構想」の促進 |
|                             | ・住民の身近な公共交通である路線バスの維持と、地域ニーズに合わせたデマンド交通の充実                                     |
|                             | ・幹線道路に接続する生活道路の交通環境整備と、工業のまちとしての地域内企業の活力を高めるアクセス道路整備の推進                        |
| ③観光を中心に地域資源を生かした新たな産業の創出    | ・鹿教湯温泉・大塩温泉・霊泉寺温泉からなる丸子温泉郷の個性を生かし、農・商・工・観・医・学と連携させた人を呼び込める魅力ある観光地づくりを推進        |
|                             | ・交流人口の拡大と地域経済の好循環のため、地域振興機能を持つ道の駅整備を推進および陣場台地周辺の環境整備の充実                        |
|                             | ・商工業の拠点である丸子中心市街地から丸子ベル・シティの間の交流と賑わいの創出  |
|                             | ・農産物直売所あさつゆを中心とした新規就農者の創出、遊休農地有効活用と農地集積による地域農業を促進                              |

| 取組の内容                       | 視点・要素   |
|-----------------------------|---|
| ③観光を中心に地域資源を生かした新たな産業の創出    | <ul style="list-style-type: none"> <li>・木曾義仲挙兵の地・丸子を次代に継承し、観光資源整備と観光振興を推進</li> <li>・林間工業都市・丸子の産業団地化による企業誘致・留置を図り、製造業の持続的成長を促進</li> </ul>  |
| ④安心して暮らせる地域づくりの推進           | <ul style="list-style-type: none"> <li>・次世代を担う子どもを安心して産み育てられる環境づくりのため、丸子地域の子育て支援事業を推進</li> <li>・千曲川、依田川および内村川の沿岸・堤防・公園を健康づくり事業の拠点に位置付け、健幸都市実現に向けウォーキングを中心とした各種健康づくり事業を推進</li> <li>・すべての地区に安心して避難できる避難所を整備するとともに、自主防災組織や自治会等と連携し、安心して暮らせる災害に強い地域づくりや、災害時住民支え合いマップの取組を推進</li> </ul> |
| ⑤人材、資源を活用した生涯学習*、文化・スポーツの推進 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・文化遺産や近代化遺産の価値を再確認するとともに、地域内の郷土博物館や図書館、公文書館等の施設の効果的な連携事業を推進</li> <li>・進取の精神を持つ郷土・丸子を継承するため、さらなる生涯学習事業を推進</li> <li>・信州国際音楽村と丸子文化会館を文化の拠点とし、地域資源との連携による各種事業を推進</li> <li>・多様な人材や団体と連携し、文化スポーツ活動団体等の相互交流や、人材を育成</li> </ul>                     |

## ■ 地域内で活動している住民自治組織

### ◆ 丸子まちづくり会議 [平成28年3月29日設立]

#### 【地域の課題】

- ・地域コミュニティの共助による地域防災力の向上
- ・人口減少による地域力の衰退と高齢者の利便性の確保
- ・子育て支援や小中高の教育環境の充実とUIターン\*ができる環境づくり

#### 【まちづくりのテーマ・ビジョン】

- ・地域力を高める 協働のまちづくり
- ・誰もが安全で 安心して暮らせるまち
- ・伝統文化が息づき 賑わいのあるまち
- ・地域を愛する 心豊かな子どもを育むまち

#### 【主な取組分野(予定を含む)】

- ・フリースペース「あったまるこ」企画運営
- ・「子どもの明日を考える」講演会・セミナー開催
- ・地域防災の講演会や 避難誘導、避難所設営・運営研修会開催

## 真田地域

### ■ 地域の特性

1. 真田氏発祥の郷として歴史に培われた数多くの歴史・文化資源が点在
2. 上信越高原国立公園に位置する菅平高原をはじめとする雄大な自然環境
3. トップアスリートが集う「スポーツ合宿の聖地」菅平高原
4. 自治センター周辺には、地域住民生活の拠点となる公益・公共施設が集積
5. 福祉施設が数多く点在し、地域で支え合う福祉活動が活発
6. 自然環境の特性を生かした農産物の生産、地域営農集落組織による多様な取組



### ■ 発展の方向性 〈まちづくりの基本的方向性〉

1. 豊かな自然環境や地域文化を活用しながら大切に保全し、次世代に継承します。
2. 魅力的な地域資源と特性を生かした地域づくりを推進し、持続可能な支え合う地域社会を目指し、関係人口\*の創出と移住・定住の促進を図ります。
3. 市街地近郊の魅力ある居住空間として、健康で快適に安心して暮らせるまちづくりを進めます。
4. だれもが活躍できる地域を形成し、子どもたちが住み続けたい故郷を目指します。
5. 地域の活力創造のために住民一人ひとりが自主的に学び、考え、行動する地域を目指します。

#### 〈取組の方向性(取組の視点)〉

| 取組の内容                     | 視点・要素   |
|---------------------------|---|
| ① 全員参加による地域づくりの推進         | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 住民自治組織を周知し、参画を促すとともに、自治会や各種団体、住民との連携・協働による、地域の個性・特性を生かした誰もが活躍できるまちづくりの推進</li> <li>・ 「地域づくり委員会」を継続し、充実・発展を図り、協働による住みやすく潤いあるふるさとづくりの推進</li> <li>・ 地域資源を生かした住民参加の持続可能な地域づくりを推進し、ふるさとの魅力を高め、多様な価値観を認め合う事業の展開</li> <li>・ 交流人口の拡大と定住を促進するための人のつながりを強め、持続可能な人口基盤につながる人や団体の連携拡大</li> </ul> |
| ② 地域の特性を生かした魅力ある農業の推進     | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 生産性の高い農業経営や地域ブランドの確立、付加価値の高い農産物の創出や6次産業化*の取組を進め、持続可能な農業を推進</li> <li>・ 遊休農地の発生防止および解消に向け、多様な担い手の育成や確保とともに、農地の有効活用と集積化の推進</li> <li>・ 農業体験や都市農村交流を進めるとともに、地元農産物の地産地消の促進により、次代へつなぐ農業の推進</li> </ul>   |
| ③ 多彩な地域資源と誇りある歴史を生かした観光振興 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 真田氏発祥の郷としての歴史や文化、ブランド力を生かした観光誘客の推進とシビックプライド*の醸成に向けた施策の展開</li> <li>・ 菅平高原の自然環境と「スポーツ合宿の聖地」としての特性を生かし、インバウンド*も視野に入れたスポーツツーリズムや体験型・滞在型の通年観光の推進</li> <li>・ 菅平高原のブランドイメージにふさわしい観光施設の維持管理の継続と、施設的环境整備の充実</li> </ul>  |
| ④ 地域の活性化に向けた交通ネットワークの整備   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 上信自動車道整備促進や国道144号および国道406号などの地域の主要幹線道路の整備促進</li> <li>・ 生活道路の安全確保や観光・農業振興を図るための道路整備</li> <li>・ 地域一丸となり将来にわたり公共交通機関を存続していくための取組</li> </ul>   |

| 取組の内容                           | 視点・要素  |
|---------------------------------|--|
| ⑤安心して暮らせる地域づくり                  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域で子どもたちと子育てを支える環境整備に取り組み、地域みんなで支え合う福祉のまちづくりの推進</li> <li>・医療と介護が充実し、保健・医療・福祉の連携により安心して生活ができるまちづくりの推進</li> <li>・地域コミュニティ活動や福祉活動の拠点となっている老朽化した施設の、災害に強い公共施設整備に向けた取組</li> <li>・自治会を中心とした住民のグループコミュニケーションの活性化を促進し、地域の隅々までデジタル技術の恩恵を享受される、持続可能な地域社会を目指す環境整備</li> <li>・災害時における確実な情報伝達手段を構築し、自主防災組織の強化による「自主防災体制」の確立</li> </ul> |
| ⑥子ども育成および地域に根ざした生涯学習*と生涯スポーツの促進 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・多様な組織・団体・世代間の連携による、将来を担う地域の子どもを地域で育てるためのボランティア活動や交流活動、広報啓発活動等による環境づくりの実践</li> <li>・子育てや地域の特色を生かした子どもたちの学びを通じて、将来に渡り地域への愛着を育む事業の展開</li> <li>・地域の歴史、文化、自然を活用した、誰もが学べる生涯学習の推進</li> <li>・生涯を通じてスポーツに親しむことができる環境の整備</li> </ul>  |

## ■ 地域内で活動している住民自治組織

### ◆ 真田の郷まちづくり推進会議 [平成29年7月1日設立]

#### 【地域の課題】

- ・人口減少と少子化および高齢化
- ・生活圏の不便さ
- ・地域交通の問題
- ・防災意識の向上(災害危険個所が多い)
- ・自治会役員の成り手不足、活動のマンネリ化
- ・地域と学校との関係の希薄さ
- ・空き家対策

#### 【まちづくりのテーマ・ビジョン】

- みんなでつくろう「心豊かな未来の真田」
- ・誰もが楽しく活躍でき、安心して住める地域づくり
- ・将来を担う子どもたちへの環境整備と歴史文化の伝承
- ・災害への備え、防犯、交通安全への取組
- ・子や孫の世代が住み続けたいと思える取組
- ・住民目線で当会や地域情報の積極的発信

#### 【主な取組分野(予定を含む)】

- ・住民支え合い活動など生活弱者支援事業
- ・子どもの居場所づくりなど育成事業
- ・子育て応援事業
- ・伝統、文化、景観の伝承
- ・地域防災活動と人材育成事業
- ・環境整備事業(竹伐採事業)
- ・コミュニティスクール\*支援事業
- ・機関紙の発行とSNSの活用
- ・空き家対策の検討(予定)

## 武石地域

### ■ 地域の特徴

1. 美ヶ原高原の雄大な自然と透き通る清流、心安らぐ田園風景
2. 医療・保健・福祉・介護が一体となった潤いと温かみのある地域
3. 安全な農畜産物と営農組織や担い手農家などによる活力ある農業
4. 巢栗渓谷、余里一里花桃の里、うつくしの湯、番所ヶ原スキー場など多彩な観光資源
5. 御柱祭とお練り行列、武石音頭の継承など伝統文化が息づく里
6. 地域外への流出による人口減少と少子高齢化の進行



### ■ 発展の方向性 〈まちづくりの基本的方向性〉

1. 雄大な自然と心安らぐ田園風景を大切に守り育てていきます。
2. 自治会、住民自治組織、各種団体が連携して参加と協働\*による地域づくりを推進します。
3. 地域の医療・福祉・交通の維持、防災対策の充実により、誰もが安心して暮らせるまちを目指します。
4. 活力ある農業の推進と自然や多彩な地域資源を生かした魅力ある観光地づくり、商工業等の振興、雇用場の確保を図ります。
5. 歴史や伝統文化を守り、将来を担う子どもたちの支援に地域全体で取り組みます。
6. 過疎対策の推進により地域の活力の向上を目指すとともに、各種交流により関係人口\*および移住・定住人口の増加を図ります。

#### 〈取組の方向性(取組の視点)〉

| 取組の内容                        | 視点・要素   |
|------------------------------|---|
| ①参加と協働によるまちづくりの推進            | <ul style="list-style-type: none"> <li>・住民自治組織やまちづくり団体、企業等、地域が一体となって取り組む魅力あるまちづくりの推進、担い手人材の発掘・育成を促進</li> <li>・誇りを持って心豊かに住むことができる「ふるさと」を目指し、シビックプライド*を醸成する武石地域全域公園化構想の推進</li> </ul>  |
| ②安心で快適に暮らせる地域づくりの推進          | <ul style="list-style-type: none"> <li>・災害緊急時および地域コミュニティにおける情報伝達手段である放送システムの有効活用</li> <li>・住民の「自助」の能力を高めるとともに、自主防災体制の確保により「共助」を強化し、地域防災力の向上を促進</li> <li>・デマンド交通の維持と地域のニーズに合わせた運行形態の充実</li> <li>・公共施設が集積する武石地域総合センター周辺に各種機能を集約するとともに、賑わいを創出</li> </ul> |
| ③地域をつなぐ道路交通環境の整備             | <ul style="list-style-type: none"> <li>・武石地域と市中心部を結ぶ国道、県道および幹線市道の安全で安心な道路整備の促進および推進</li> <li>・生活道路や観光ルートの防災対策を推進し、災害に強い道路網の整備</li> <li>・地域住民の生活道路である主要地方道美ヶ原公園沖線の計画的な道路整備の促進</li> </ul>   |
| ④地域に根ざした医療、保健、福祉、介護、子育て支援の充実 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・医療、保健、福祉、介護、子育て支援など関係機関や団体との連携による地域に根ざした健康づくりの推進と安心して暮らし続けることができる地域福祉の充実</li> <li>・地域の在宅医療を支える武石診療所と初期および二次救急を担う依田窪病院の維持・充実による地域医療体制の確立</li> </ul>  |

| 取組の内容                         | 視点・要素   |
|-------------------------------|---|
| ⑤活力ある農業の推進                    | <ul style="list-style-type: none"> <li>・農業の担い手となる農業者への支援・育成と、地域全体で農業経営を支える体制の構築および計画的な農業施設の整備</li> <li>・優良農用地を担い手へ集積・集約することによる利活用の促進および地域全体で取り組む農村環境の保全活動による遊休荒廃農地の解消</li> </ul>  |
| ⑥就労場所の確保と商工業他産業の振興、起業・創業への支援等 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・就労場所の確保と商工業の振興、製造業、旅館業、情報サービス業等の設備投資に対する支援、起業・創業への支援</li> </ul>   |
| ⑦多彩な地域資源を生かした観光の振興            | <ul style="list-style-type: none"> <li>・多彩な観光資源の有効活用と計画的な施設整備を推進し、効果的な観光宣伝と誘客活動による交流人口の拡大</li> <li>・松本市・長和町をはじめ、信州ビーナスライン連携による美ヶ原高原の周遊性の向上および自然環境保全と魅力の発信</li> </ul>  |
| ⑧地域全体で取り組む学び・子育て・伝統文化の継承      | <ul style="list-style-type: none"> <li>・公民館、教育委員会並びに多様な組織・団体との連携による学校支援・子育て支援の充実</li> <li>・地域課題や歴史など生涯にわたる「学び」の機会の確保と公民館活動の充実、スポーツの振興、健康・体力づくり活動の充実</li> <li>・御柱祭とお練り、武石音頭などの伝統文化を継承するための活動の充実とそれらを支える人材の育成、確保</li> </ul>         |
| ⑨地域資源を活かした関係人口*の創出と移住・定住の促進   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・友好都市である練馬区との連携によるイベントおよび農山村体験を通じた都市農村交流の推進</li> <li>・若者定住の促進のため住宅確保および各種支援の充実</li> <li>・空き家や空き店舗の有効利用を図り、地域の振興および関係人口の創出・移住定住を推進</li> <li>・過疎地における各種課題に対し最先端技術を活用し、解決に向けた取組を推進</li> </ul> |

## 地域内で活動している住民自治組織

### ◆ 住みよい武石をつくる会 [平成29年3月30日設立]

#### 【地域の課題】

- ・人口減少、少子化・高齢化
- ・地域自治・集落維持活動の困難化
- ・自主防災体制の確立
- ・独居高齢者、要介護者などの増加、家庭介護力の減退
- ・核家族化、就労の多様化などによる子育て環境の変化
- ・交通弱者の移動支援
- ・農村景観の魅力低下
- ・農業人口の減少・高齢化
- ・松くい虫等による森林資源損失
- ・空き家の増加防止対策

#### 【まちづくりのテーマ・ビジョン】

- ・人々が明るく支えあう安全・安心な地域づくり
- ・地域資源を生かした地域づくり
- ・地域の課題の点検と共有化
- ・地域の考えや意見を集め、会の活動に生かしていく

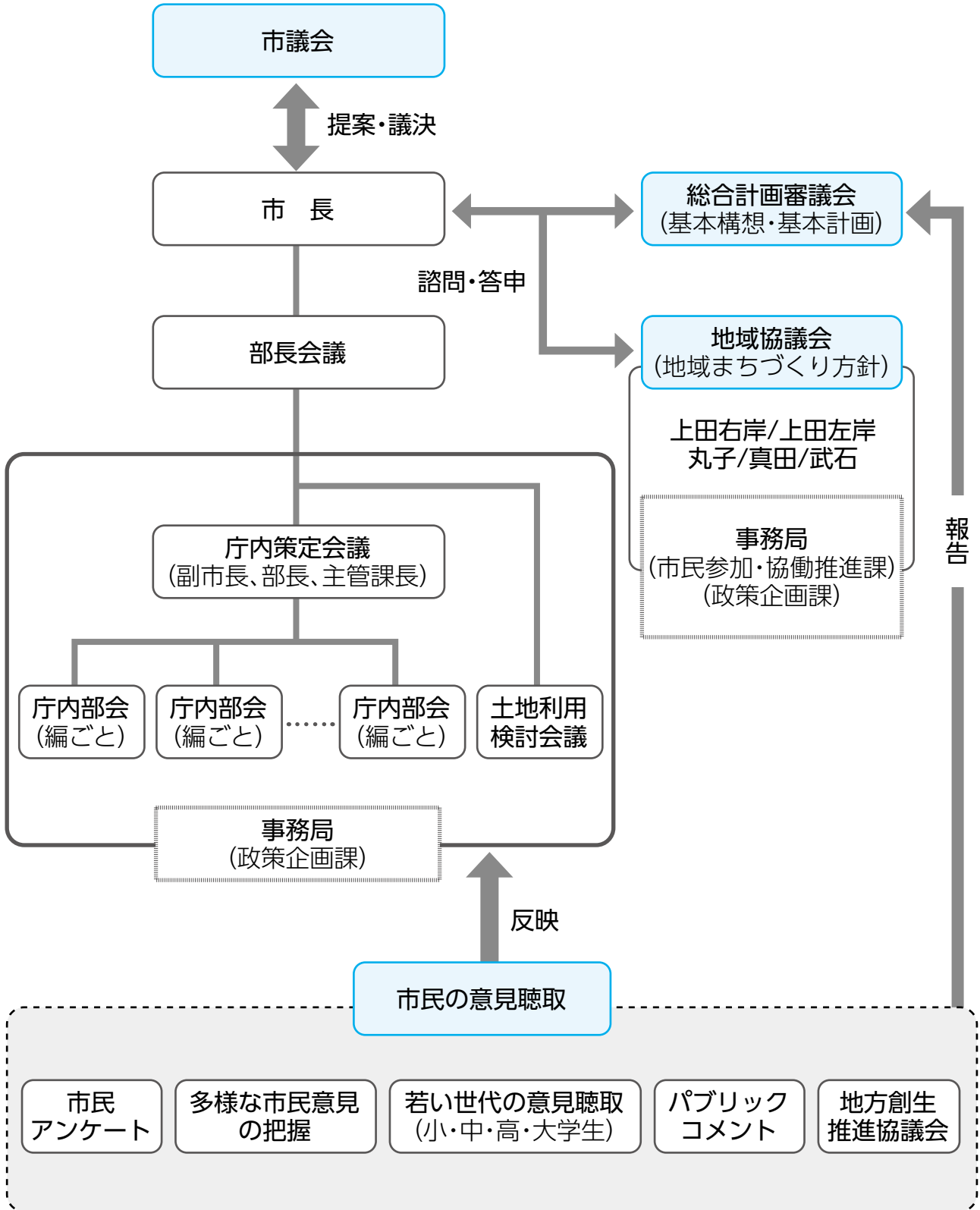
#### 【主な取組分野(予定を含む)】

- ・情報伝達無線システム通信「エリアトーク」運営
- ・健康増進、子ども体験学習支援
- ・伝統・歴史の継承「武石ふるさとかるた」史跡・景勝地散策
- ・景観、環境整備(武石八景、武石バイパス切通し法面等)
- ・遊休農地を利用し野菜の生産、販売
- ・空き家、古民家活用ワークショップ開催



# 策定経過

## 1 計画の策定体制



## 2 上田市総合計画審議会

### 審議内容

| 開催日               | 開催会議           | 主な内容   |
|-------------------|----------------|--|
| 令和6年<br>6月28日(金)  | 第1回全体会         | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 諮問</li> <li>・ 総合計画の策定方針について</li> <li>・ 審議会運営について</li> <li>・ 計画策定の流れについて</li> </ul>  |
| 令和6年<br>8月26日(月)  | 第2回全体会         | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 市民アンケート調査結果(報告)</li> <li>・ 各種WEBアンケート結果(報告)</li> <li>・ 基礎調査・分析/評価(報告)</li> <li>・ まちづくりビジョン(素案)について</li> <li>・ 重視する「5つの視点」(案)について</li> </ul> |
|                   | 第1回部会          | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 第二次総合計画後期まちづくり計画の検証について</li> </ul>  |
| 令和6年<br>11月15日(金) | 第3回全体会         | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 将来都市像・キャッチフレーズ(案)について</li> <li>・ 重視する「6つの視点」(修正案)について</li> <li>・ 上田市版人口ビジョン改定(案)及び人口目標について</li> <li>・ まちづくりビジョン(案)について</li> </ul>           |
|                   | 第2回部会          | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 第1回部会への対応状況</li> <li>・ 第三次総合計画前期まちづくり計画案について</li> </ul>   |
| 令和7年<br>2月6日(木)   | 第4回全体会         | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 序論及びまちづくりビジョン(素案)について</li> <li>・ 前期まちづくり計画(素案)について</li> </ul>   |
|                   | 第3回部会          | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 第2回部会への対応状況</li> <li>・ 前期まちづくり計画(素案)について</li> </ul>   |
| 令和7年<br>2月14日(金)  | 中間答申           | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 市長に中間答申書手交</li> </ul>   |
| 令和7年<br>6月26日(木)  | 第5回全体会         | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 市民意見募集手続(パブリックコメント)の結果について</li> <li>・ パブリックコメントへの対応状況について</li> </ul>  |
|                   | 第4回部会          | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 第3回部会への対応状況</li> <li>・ パブリックコメントへの対応状況について</li> </ul>   |
| 令和7年<br>8月7日(木)   | 第6回全体会<br>最終答申 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 最終答申内容の確認及び市長に答申書手交</li> </ul>  |

### 3 総合計画策定における市民参加などの状況

| 項目                 | 期間                | 内容  |
|--------------------|-------------------|---|
| 市民アンケート            | 令和6年5月～6月         | 市民5,000人を対象にアンケート<br>回答数：1,814人   |
| WEBアンケート           | 令和6年5月～6月         | 小学生(高学年)回答数：2,094人<br>中学生回答数：2,256人<br>高校生回答数：509人<br>大学・専門学校生回答数：100人<br>移住者回答数：189人<br>市民一般回答数：664人 |
| 公共施設(15施設)<br>意見募集 | 令和6年6月            | 回答数：1,900件  |
| サテライト市長室           | 令和6年7月～9月         | 参加団体数：15団体  |
| 市民ワークショップ          | 令和6年10月           | 全3回、参加者数：延べ60名程度  |
| 高校生懇談会             | 令和6年12月           | 市内6高校(17名)  |
| 分野別意見聴取            | 令和6年4月<br>～令和7年1月 | 延べ57団体  |
| パブリックコメント          | 令和7年3月～4月         | 意見：39件  |

## 4 上田市総合計画審議会委員名簿

(敬称略、順不同、所属など名称は就任当時のもの)

### 上田市総合計画審議会 全体会

会長 原 有紀…………… 発酵の女学校校長 上田商工会議所女性会 副会長

副会長 西入 直喜…………… 上田市地域協議会正副会長会 会長

※全体会は、以下の部会の全構成員(総勢29名)で構成しています。

### 上田市総合計画審議会 部会

(◎：部会長、○：副部会長)

#### 市民・交流部会

- ◎ 中村 彰 …………… 上田市自治会連合会 会長
- 山本 幸恵 …………… 丸子テレビ放送(株) 放送部長
- 西入 直喜 …………… 上田市地域協議会正副会長会 会長
- 柳沢 裕子 …………… 武石風土つなぎ隊 隊長
- 安藤 健二 …………… 上田市多文化共生推進協会 会長
- 井上 拓磨 …………… (株)はたらクリエイト代表取締役 上田市行財政改革推進委員会委員
- 矢島富士雄 …………… (一財)上田市スポーツ協会 副会長
- 田中 舞 …………… 上田市民リポーター
- 葛西 剣介 …………… シードジャパン(株)
- 直井 恵 …………… 草の根文化芸術コーディネーター

#### 環境・経済部会

- ◎ 羽田 司 …………… 長野大学環境ツーリズム学部 准教授
- 唐澤 信広 …………… 上田商工会議所 事務局長
- 唐木田 稔 …………… (一社)長野県環境保全協会上小支部
- 宮嶋絵美子 …………… 石井工務店 261bldg
- 西藤 直義 …………… 上田防災研究所・たんぼぼ Chief 長野県自主防災アドバイザー
- 大久保昌則 …………… 農業者 農業青年グループ 代表
- 原 有紀 …………… 発酵の女学校校長 上田商工会議所女性会 副会長
- 宮崎 涼 …………… 鹿教湯温泉旅館協同組合 組合長
- 水寄 歩実 …………… 発見と創造ラボ 代表 おいでよ上田 運営

## 厚生・教育部会

- ◎ 荒川 玲子 ……………NPO法人 うえだミックススポーツクラブ 理事長 元長野県教育委員
- 竹花のり子 ……………丸子公民館運営審議会 委員 元上田市社会教育委員
- 鳥羽 泰之 ……………上田市医師会 副会長
- 永井 理恵 ……………(社福)上田市社会福祉協議会
- 高橋比呂美 ……………上田市私立保育園・認定こども園協会副会長  
保育所型認定こども園みのり保育園園長
- 阿部 久美 ……………あべ母乳、子育て相談室
- 城田 真裕 ……………上田市校長会 会長
- 関 綾音 ……………大学生(長野大学環境ツーリズム学部) 長野大学MIZUMATCH 代表
- 中島 冬陽 ……………大学生(長野大学環境ツーリズム学部) 上田未来会議 企画運営委員
- 丸山 宏尚 ……………合同会社ビジョンパートナー 代表 ファザーリング・ジャパン信州 事務局長

## 関連する主な個別計画一覧

(令和8年4月時点での掲載)

| 編-章-節 |                                | 関連する主な個別計画                           |
|-------|--------------------------------|--------------------------------------|
| 1-1-1 | 自治基本条例に基づくまちづくりの推進             | 上田市協働のまちづくり指針                        |
| 1-2-1 | 一人ひとりの人権が尊重される社会の実現            | 上田市人権施策基本方針(第二次改訂)                   |
| 1-2-2 | 誰もが互いに尊重しあい、個性と能力を十分発揮できる社会の実現 | 第4次上田市男女共同参画計画                       |
| 1-2-3 | 外国籍市民の自立と社会参加による多文化共生社会の実現     | 上田市多文化共生のまちづくり推進指針                   |
|       |                                | 上田市多文化共生のまちづくり推進計画                   |
| 1-3-1 | 行財政改革の推進と住民サービスの充実             | 上田市行財政改革大綱                           |
|       |                                | 上田市公共施設等総合管理計画                       |
|       |                                | 第二次上田市スマートシティ化推進計画                   |
|       |                                | 上田市人材育成基本計画                          |
| 1-3-2 | 市民と行政との情報共有の推進                 | 上田市定員管理計画                            |
|       |                                | 第二次上田市スマートシティ化推進計画                   |
| 2-1-1 | 豊かな自然環境の保全と活用                  | 第二次上田市環境基本計画                         |
|       |                                | 上田市森林整備計画                            |
| 2-1-2 | 循環型社会形成の推進                     | 上田地域広域連合ごみ処理広域化計画                    |
|       |                                | 上田市ごみ処理基本計画                          |
|       |                                | 上田市ごみ減量アクションプラン                      |
|       |                                | 生ごみリサイクル推進プラン                        |
|       |                                | 上田市生活排水処理基本計画                        |
| 2-1-3 | 地球温暖化対策の推進                     | 資源循環型施設基本計画                          |
|       |                                | 第二次上田市環境基本計画                         |
|       |                                | 上田市地球温暖化対策地域推進計画                     |
| 2-2-1 | 賑わいと交流のまちづくりに向けた道路網の整備・促進      | エコオフィスうえだ<br>(第五次上田市役所地球温暖化防止実行計画)   |
|       |                                | 上田地域広域連合広域計画*<br>(上田地域広域幹線道路網 構想・計画) |
| 2-2-2 | 地域をつなぎ未来へつむぐ地域公共交通             | 上田市地域公共交通計画                          |
|       |                                | 上田市・青木村地域公共交通利便増進実施計画                |
| 2-2-3 | 安全・安心に暮らせる環境の整備                | 上田市都市計画マスタープラン                       |
|       |                                | 上田市立地適正化計画                           |
|       |                                | 上田市国土強靱化地域計画                         |
|       |                                | 上田市市営住宅等長寿命化計画                       |
| 2-2-4 | 緑豊かな魅力ある都市環境の創出                | 第二次上田市空家等対策計画                        |
|       |                                | 上田市緑の基本計画                            |
|       |                                | 上田市景観計画                              |
|       |                                | 上田市歴史的風致維持向上計画                       |

| 編-章-節 |                            | 関連する主な個別計画                    |
|-------|----------------------------|-------------------------------|
| 2-2-5 | 安定した経営による上水道・下水道事業の継続      | 上田市上下水道事業経営戦略(中間見直し)          |
|       |                            | 上田市水道ビジョン                     |
|       |                            | 上田市下水道ビジョン                    |
|       |                            | 上田市「水循環・資源循環のみち2022」構想        |
|       |                            | 上田市公共下水道ストックマネジメント計画          |
| 2-2-6 | 犯罪や交通事故のないまちづくりと消費者被害防止の推進 | 第2次上田市交通安全計画                  |
| 2-2-7 | 地域防災力の向上と災害対応力の強化          | 上田市地域防災計画                     |
|       |                            | 上田市国民保護計画                     |
|       |                            | 上田市国土強靱化地域計画                  |
|       |                            | 消防施設個別施設計画                    |
| 3-1-1 | 地産地消の推進と都市農村交流による地域の活性化    | 上田市地産地消推進基本計画                 |
|       |                            | 上田市農山漁村発イノベーション推進戦略           |
| 3-1-2 | 農業の安定的な生産体制の整備と産地化の推進      | 上田市農業振興地域整備計画                 |
|       |                            | 地域農業経営基盤強化促進計画                |
|       |                            | 農業経営基盤の強化の促進に関する基本的な構想        |
|       |                            | 上田市農山漁村発イノベーション推進戦略           |
| 3-1-3 | 森林の適切な経営管理と地域産木材の利用推進      | 上田市森林整備計画                     |
|       |                            | 上田市鳥獣被害防止計画                   |
| 3-2-1 | 起業・創業の支援と中堅・中小企業者の経営基盤強化   | 上田市商工業振興プラン                   |
| 3-2-2 | 地域経済を牽引する工業(ものづくり産業)の振興    | 上田市商工業振興プラン                   |
|       |                            | 東信州次世代イノベーションプラン              |
|       |                            | 長野県上田地域基本計画                   |
| 3-2-3 | 賑わいと活力ある商業の振興              | 上田市商工業振興プラン                   |
| 3-2-4 | 安心して働ける環境づくりと就業支援          | 上田市商工業振興プラン                   |
| 3-3-1 | 魅力を高め個性がつながる観光の振興          | (仮称)上田市観光ビジョン実施計画             |
| 4-1-1 | 健幸都市を目指した健康づくり事業の推進        | 第四次上田市民健康づくり計画                |
|       |                            | 第3次上田市食育推進計画                  |
|       |                            | 第2期上田市自殺対策計画                  |
| 4-1-2 | 安心して医療が受けられる環境づくり          | 第3期信州保健医療総合計画                 |
| 4-1-3 | 高齢者がいきいきと安心して暮らせる仕組みづくり    | 第9期上田市高齢者福祉総合計画               |
| 4-2-1 | 共生社会の実現を目指す障がい者支援の充実       | 第3次上田市障がい者基本計画                |
|       |                            | 第7期上田市障がい福祉計画                 |
|       |                            | 第3期上田市障がい児福祉計画                |
|       |                            | 第3次上田市子ども・子育て支援事業計画(上田市こども計画) |

| 編-章-節              |                           | 関連する主な個別計画                         |
|--------------------|---------------------------|------------------------------------|
| 4-2-2              | 住民自らで支える地域福祉力の充実・強化       | 第4次上田市地域福祉計画                       |
| 4-2-3              | 社会保障制度の適正な運用による福祉の増進      | 上田市国民健康保険第三期保健事業実施計画<br>(データヘルス計画) |
|                    |                           | 第四期特定健康診査*等実施計画                    |
|                    |                           | 第4次上田市地域福祉計画                       |
| 4-3-1              | 出産・子育てしやすい環境の実現           | 第四次上田市民健康づくり計画                     |
|                    |                           | 第3次上田市子ども・子育て支援事業計画<br>(上田市こども計画)  |
| 4-3-2              | 多様なニーズに応えるきめ細やかな子育て支援の充実  | 第3次上田市子ども・子育て支援事業計画<br>(上田市こども計画)  |
|                    |                           | 上田市保育施設整備計画                        |
| 5-1-1              | 教育環境の整備と地域ぐるみの教育推進        | 上田市学校施設長寿命化計画                      |
|                    |                           | 第4期上田市教育支援プラン                      |
|                    |                           | 第3次上田市子ども・子育て支援事業計画<br>(上田市こども計画)  |
|                    |                           | 第3次上田市食育推進計画                       |
|                    |                           | 上田市地産地消推進基本計画                      |
|                    |                           | 上田市人権施策基本方針(第二次改訂)                 |
|                    |                           | 第三次上田市生涯学習*基本構想                    |
| 5-1-2              | 高等教育機関との連携による地域の魅力や活力の向上  | 公立大学法人長野大学第2期中期目標                  |
|                    |                           | 学園都市うえだビジョン                        |
| 5-2-1              | 生涯学習の推進と学習環境の整備           | 第三次上田市生涯学習基本構想                     |
|                    |                           | 第三次上田市図書館基本構想                      |
|                    |                           | 上田市図書館施設整備計画                       |
| 6-1-1              | 文化遺産の継承と活用                | 上田市文化財保存活用地域計画                     |
|                    |                           | 上田市歴史的風致維持向上計画                     |
|                    |                           | 史跡上田城跡保存活用計画                       |
|                    |                           | 史跡上田城跡整備基本計画                       |
|                    |                           | 史跡信濃国分寺跡保存整備基本計画                   |
| 第三次上田市文化芸術に関する基本構想 |                           |                                    |
| 6-1-2              | 育成を基本理念とした文化芸術活動への支援と文化創造 | 第三次上田市文化芸術に関する基本構想                 |
| 6-2-1              | 生涯スポーツ活動の推進とスポーツ環境の整備     | 第二次上田市スポーツ推進計画                     |
|                    |                           | 上田市スポーツ施設整備基本構想・整備計画               |
| 6-3-1              | 選ばれる都市に向けた上田の魅力発信         | 第二次上田市空家等対策計画                      |
|                    |                           | 第二次上田市シティプロモーション*推進指針              |
| 6-3-2              | 交流・連携促進による地域の活性化          | 第3次上田地域定住自立圏共生ビジョン*                |

## 用語解説

### あ行

- インクルーシブな教育**…………… (p109、123)  
障がいの有無に関わらず共に学ぶ仕組み
- インクルーシブ遊具**…………… (p71)  
障がいの有無や年齢、身体能力などに関わらず、誰でも一緒に楽しめるように設計された遊具
- インバウンド**…………… (p98、100、149)  
訪日外国人旅行
- 上田市産学官連携支援施設(AREC)**…………… (p91)  
信州大学の研究者と企業との共同研究開発を通し、地域に新しい技術や産業を生み出すことを目的とした施設
- 上田地域広域連合広域計画**…………… (p64、140、159)  
広域連合を組織する上田市、東御市、青木村、長和町及び坂城町やその住民に対して、広域連合が掲げる目標や事務処理の方針
- 上田地域30分(サンマル)交通圏**…………… (p63、64)  
上田市、東御市、長和町、坂城町、青木村の中心部から、上信越自動車道の最寄りのインターチェンジや上田駅へ、おおむね30分以内で結ばれるよう道路網を整備する構想
- 上田地域定住自立圏共生ビジョン**  
…………… (p140、161)  
上田市を中心に、周辺の5市町村(東御市、長和町、青木村、坂城町、立科町)および群馬県嬭恋村が連携し、圏域の将来像や、医療・教育・産業振興などの生活機能維持・向上に向けた具体的連携施策をまとめた中期計画
- ウォークブル**…………… (p69)  
歩く(walk)とできる(able)を組み合わせた造語。「歩きやすい」や「歩くのが楽しい」という意味
- オープンデータ**…………… (p51、52)  
誰でも自由にアクセス、使用、再配布できる形式で公開されたデータのこと。
- オープンドアスクール**…………… (p124)  
学びの多様化(個々の不登校の状態に応じた特別な教育課程を編成し、教育を実施できる学校)と夜間中学(義務教育を修了できなかった方や諸事情により中学校で十分に学べなかった方のための学校)を併設した学校。長野県が学びの多様化(学校)と夜間中学を併設した学校を「信州オープンドアスクール」としていることから、上田市においても「オープンドアスクール」の用語を使用

- オーラルフレイル**…………… (p103)  
「オーラル」は「口腔」、「フレイル」は「虚弱」を意味し、健康と機能障害の中間にあり、食べこぼす、噛めない食品が増える、むせる、口が渇く、滑舌が悪くなるなど、口腔機能が衰える状態

### か行

- 外国人集住都市会議**…………… (p46、47)  
外国人に係る施策や活動に取り組む都市および同地域の国際交流協会をもって構成し、情報交換を行うなかで、地域課題の解決に積極的に取り組んでいくことを目的として、2001年5月に設立された。国・県および関係機関への提言や会員都市間で連携した取り組みを行っている。

- 関係人口**  
…………… (p137、138、139、140、149、151、152)  
移住した「定住人口」でもなく、観光に来た「交流人口」でもない、地域と多様に関わる人々のこと。

- 観光DX**…………… (p100)  
デジタル技術を使い、観光業の業務を効率化するだけでなく、集めたデータを分析・活用して、ビジネス戦略の見直しや新しいビジネスモデルの創出までを行う取組

- 基幹的農業従事者**…………… (p84)  
普段の就業状態が「主に農業」である者

- 企業メセナ**…………… (p133)  
企業による社会貢献の一環として行う芸術文化支援

- 協働推進員**…………… (p39、40)  
協働によるまちづくりを推進するため、職場内の協働に関する普及啓発や体制づくり、地域コミュニティへの対応等を行う庁内に配置された職員

- クラインガルテン**…………… (p138、143)  
滞在型(宿泊施設付き)の市民農園

- グリーンインフラ**…………… (p71)  
みどりが持つ多様な機能をインフラ整備やまちづくりに活用すること。

- 合計特殊出生率**…………… (p31)  
15～49歳までの女性の年齢別出生率を合計したもので、ひとりの女性とその年齢別出生率で一生の間に産むとしたときの子どもの数の平均

**合理的配慮**…………… (p108、109)

障がいのある方から申し出があった場合に、負担が重すぎない範囲でその求めに応じて、必要かつ合理的な対応をすること。合理的配慮の提供は障害者差別解消法によりすべての事業者に義務化されている。

**こども家庭センター**…………… (p116)

母子保健を担当する「子育て世帯包括支援センター」と、児童福祉を担当する「子ども家庭総合支援拠点」の両機能を一体的に運営し、母子保健・児童福祉両機能の連携・協働を深め、虐待への予防や個々の家庭に応じた切れ目ない支援等の強化を図る機関

**こどもまんなか社会**…………… (p115、124)

こどもや子育て中の方々が気兼ねなく様々な制度やサービスを利用できるよう、地域社会、企業など様々な場で、年齢、性別を問わず、全ての人がこどもや子育て中の方々に応援するといった社会全体の意識改革を進めるための取組

**コミュニティスクール**…………… (p124、143、144、150)

保護者や地域の皆さんの声を学校運営に直接反映させ、保護者・地域・学校・教育委員会が一体となって、より良い学校をつくり上げていくことを目指す。

**さ行****産学官金**…………… (p92)

産業(企業)、学術(大学・研究機関)、行政(政府・地方自治体)、金融(金融機関)が連携し、地域産業の振興や社会課題の解決を目指す枠組み

**参加と協働**…………… (p2、38、39、142、147、151)

市民の皆さんが、市の政策等の企画又は立案段階から主体的に関わり、自立した主体が互いの自主性を尊重し、対等な立場で連携し協力し合うこと。

**ジェンダー格差**…………… (p43)

性別による社会的な不平等や偏見

**ジェンダー・ギャップ指数**…………… (p5、43)

各国の社会進出における男女格差を示す指標。世界経済フォーラム(WEF)が毎年公表しているもので、経済活動や政治への参画度、教育水準、出生率や健康寿命など、4分野14項目における男女格差の状況を指数化し、国別に順位をつけたもの

**自給的農家**…………… (p84)

経営耕地面積が30a未満かつ農産物販売金額が50万円未満の農家

**自助・共助・公助**…………… (p77)

自助…災害が発生したときに、まず自分自身や家族の身の安全を守ること。

共助…地域やコミュニティといった周囲の人たちが協力して助け合うこと。

公助…市町村や消防、県や警察、自衛隊といった公的機関による救助・援助のこと。

**実質公債費比率**…………… (p16、49、50)

一般会計などの公債費(元利償還金)に加え、上下水道事業などの公営企業会計の公債費に対する繰出金や、広域連合・一部事務組合などの公債費に係る負担金などの準元利償還金を含めた実質的な公債費が、地方公共団体の標準的な一般財源の規模に占める割合。この指標は、過去3年間の平均値で算定される。

**シティプロモーション**

…………… (p100、137、138、161)

一般的に、地方自治体が行う「宣伝」、「広報」、「営業活動」などのことを指すが、明確な定義はなく、まちの魅力を地域内外に効果的に発信して都市のイメージや認知度の向上を図り、交流人口や移住、定住人口の創出・拡大などを旨とする取組のこと。

**し尿前処理下水道投入施設**…………… (p57、59)

し尿などから異物を取り除き下水道処理に適した水質に希釈した後、下水道へ投入する施設。下水道の整備が進んだ地域では、し尿の発生量が減少するため、下水道施設の効率的な運用面からも採用する自治体が増えている。

**シビックプライド**

…………… (p126、133、137、138、149、151)

「都市(まち)に対する市民の誇り」、「ここをよりよい場所にするために自分自身が関わっている」という、当事者意識に基づく自負心を意味している。コミュニティが「人と人のつながり」であるのに対し、シビックプライドは、基本的には「人とまちのつながり」であり、郷土愛が源泉となる。

**社会教育**…………… (p42、127、128)

学校の教育課程として行われる教育活動を除き、主として青少年及び成人に対して行われる組織的な教育活動(体育及びレクリエーションの活動を含む。)

**周産期**…………… (p105)

妊娠22週から出生後満7日未満までの期間をいい、この時期は母体・胎児・新生児の生命に関わる事態が発生する可能性がある期間

**主要河川のBOD環境基準値**…………… (p55)

BODとは、Biochemical Oxygen Demand(バイオケミカル・オキシジェン・デマンド)の

略で、生物化学的酸素要求量の意。川などから採水した有機物が好気性微生物により分解される過程で消費される水中の酸素量のこと。河川における有機物による水質汚濁の指標となる。主要河川及び、それぞれのBOD環境基準値は以下のとおり。

| 環境基準     | 河川名  |
|----------|--|
| 2mg /L以下 | 神川、浦野川、産川、千曲川、依田川、矢出沢川、傍陽川、内村川、武石川                                     |
| 3mg /L以下 | 蛭沢川、室賀川、湯川、瀬沢川、常田川、塩川沢川、洗馬川、沼入沢、角間川、渋沢川、大明神沢、大沢川、小沢根川、余里川、権兵衛川、横沢川、茂沢川 |

### 生涯学習

… (p124、127、128、147、148、150、161)

住民一人ひとりが生涯にわたって自主的、自発的に行うことを基本とした学習活動で、個人の自己学習や学校教育・社会教育を含めた多様な学習活動

### 生涯学習団体 …… (p128)

生涯学習活動を行うために、自主的に組織し運営を行う団体

### 上小医療圏地域医療再生計画 …… (p104)

上小医療圏の救急医療体制や周産期医療体制の立て直しのために、長野県が策定した医療提供体制の整備等に係る事業計画。事業として、上小圏内唯一の中核となる信州上田医療センターの医師確保、上田市内科・小児科初期救急センター整備、二次救急医療機関の整備等を実施した。

### 上水道有収率 …… (p73)

施設から送った「総配水量」と「料金として収入のあった水量」との比率

### 将来負担比率 …… (p16、49)

一般会計などが将来負担すべき実質的な負債（公営企業会計、広域連合、一部事務組合、第三セクターなどの債務を含む）について、現時点でどの程度存在するかを、地方公共団体の標準的な一般財源の規模に対する割合で示した指標

### 信州上田学 …… (p126)

持続可能な地域づくりと地域の未来を築く人づくりを目的とした、上田の魅力を知り探究する「学び」の総称

### 森林環境譲与税 …… (p55、87)

森林環境税及び森林環境譲与税に関する法律により、令和6年度から個人住民税均等割と併せて、森林環境税（国税）として1人あたり年額1,000円が課税されている。税収の全額が森林環境譲与税として、国から都道府県及び市町村に対し、私有林人工林面積・林業就労

者数・人口の割合に応じて按分されている。各地域の実情に応じて、森林整備や木材利用促進などに関する事業の財源として活用ができ、年度毎の使途は市ホームページで公表している。

### 森林経営管理制度 …… (p87、88)

管理の行き届いていない私有林について、森林所有者に意向を確認した上で、市が所有者に代わって管理や整備を行うことができる制度。市が直接事業を行うほか、林業事業体に再委託により森林経営を行うことも可能

### 森林認証林 …… (p87)

SGECが策定した森林の適正な管理に係る基準と指標に基づく審査を受けて認証された森林。市内では上田市有林、上田市東御市真田共有財産組合有林、上田市武石財産区有林及び長野県営林が認証されている。

### スマート農業 …… (p85)

ロボット技術や情報通信技術（ICT）などの先端技術を活用し、省力化や高品質生産などを可能にする新たな農業

### 生活困窮者自立支援制度 …… (p114)

生活にお困りの方の相談を受け付け、一人ひとりの状況に合わせて、仕事の支援、家賃相当額の支給などの住まいの支援、家計の立て直しの支援など様々な支援を提供する制度

### 生成AI …… (p48、49、51)

文章、画像、音声、動画等のコンテンツを創出する能力を有するコンピューター・プログラムのこと。AIはArtificial Intelligenceの略語

### ソーシャルワーク業務 …… (p117)

社会的な課題を抱える人々が直面する問題を解決し、自立した生活を送れるよう支援する専門的な業務

## た行

### 第3期信州保健医療総合計画 …… (p104、105)

「健康長寿」実現に向けて、保健・医療に関する複数の計画を一体的に策定した長野県の総合的な計画であり、計画期間は2024年度から2029年度までの6年間としている。

### 多層指導モデル（MIM） …… (p124)

通常学級において異なる学力層の児童ニーズに対応した指導・支援を提供するモデル

### 地域計画 …… (p84)

農業者や関係機関等の話し合いにより策定される将来の農地利用の姿を明確化した設計図で、概ね10年後を見据え、誰がどのように農地を使って農業を進めていくのかをまとめた計画

**地域周産期母子医療センター**……………(p104)

地域の周産期医療(妊娠22週から生後1週間未満)において、都道府県知事が指定した、産科と小児科を備え、ハイリスク妊婦や新生児への比較的高度な医療を常時提供することができる医療機関のこと。

**地域循環共生圏**……………(p60)

国が第5次環境基本計画で提唱した、各地域が美しい自然景観などの地域資源を最大限活用しながら自立・分散型の社会を形成しつつ、地域の特性に応じて資源を補完し支え合うことにより、地域の活力が最大限に発揮されることを目指す考え方

**地域生活圏**……………(p140)

人口減少下においても、買物・医療・福祉・交通など日常生活に必要なサービスを持続的に確保するため、市町村の枠を超え、デジタル技術の活用や官民連携を通じて地域課題の解決や地域の魅力向上を目指す地域(圏域)づくりの考え方。第三次国土形成計画(令和5年7月閣議決定)で提唱されたもの。

**地域担当職員**……………(p39)

地域内分権への住民意識を高めながら、地域コミュニティが取り組むまちづくり活動を支援する職員

**地域内分権**……………(p38、39、142)

住民が主体となって、行政と連携しながら「地域でできることは地域で」の共助の考え方に基づき、地域の個性や特性が生かされたまちづくりを市民協働で推進すること。

**地域包括ケアシステム**……………(p106、107、109)

高齢者が重度な要介護状態となっても、住み慣れた地域で自分らしい暮らしを最後まで続けることができるよう、「住まい」、「医療」、「介護」、「予防」、「生活支援」が一体的に提供される体制

**千曲川ワインバレー特区連絡協議会**……………(p140)

上田市を含む千曲川ワインバレー東地区に位置する12市町村で構成するワインの生産振興、発展を目的とした団体

**定年帰農者**……………(p84)

定年退職後に故郷の農村に戻り農業に従事する者や、都市部などから農村に移住して農業を始める者

**特定健康診査**……………(p113、114、161)

糖尿病などの生活習慣病の発症や重症化を予防するため、40歳から74歳までを対象としたメタボリックシンドローム(内臓脂肪)に着目した健康診査

**特定保健指導**……………(p102、114)

特定健康診査の結果、生活習慣病の発症リスクが高く、生活習慣の改善により予防効果が期待できる受診者を対象に行う保健指導。対象者が健康的な生活に自ら改善できるよう、専門家が様々な働きかけやアドバイスをを行い支援する。

**な行****にぎやかな森プロジェクト**……………(p56)

上田地域の森林を舞台に、森林整備や木材利用、森林の空間利用、林業の担い手確保等の課題について趣旨に賛同する企業から支援いただき、林業の振興や生物多様性の確保等を目標に、調査・研究を進める取組。地域の林業関係者が参加し、上田市も参加している。

**ネットワーク+多極・拠点集約型都市**

……………(p26、67、68、69)

中心市街地や各地域自治センターを中心とした拠点を公共交通などのネットワークで連携した都市

**農福連携**……………(p84、109)

農業分野での高齢化や後継者不足、福祉分野での障がいのある人の働く機会の確保や自立の促進といった課題を解決するための両分野が連携した取組

**残さず食べよう！ 30・10運動**……………(p58)

食品ロスの削減を目的に、飲食店などから出る廃棄物、とりわけ宴会時における食べ残しを減らす取組として、宴会の乾杯後30分間とお開き前の10分間は自席に着いて料理を楽しみ、余った料理は各自の責任において持ち帰るなど、食べ残しを減らすための運動

**望ましい教育環境**……………(p122、124)

子どもたちが予測困難な未来を力強く生き抜くために必要な資質・能力を育むことを目的とし、一定規模の集団生活を通じた多様な仲間との協働や切磋琢磨、教員の専門性確保が可能な学校規模、適切な通学条件の実現などを旨として整備される教育環境(参考:上田市小中学校のあり方に関する基本方針)

**は行****はじめの100か月の育ちビジョン**……………(p115)

妊娠期から小学校1年生までの約100ヶ月が、その後の人生を幸せに生きるための基盤を築く最も大切な時期であるという考え方に基づき、国が定めた子どもの育ちに関する基本的なビジョン

## 東日本連携……………(p99)

北海道・東北・北陸新幹線を活用した広域的な観光振興や都市間連携による地方創生を目的に、小樽から福井まで沿線の31自治体で構成する組織

## 病院群輪番制病院……………(p104)

上田地域広域連合圏内の10医療機関(安藤病院、上田病院、鹿教湯病院、小林脳神経外科・神経内科病院、塩田病院、花園病院、丸子中央病院、柳澤病院、東御市民病院、国保依田窪病院)が年間を通して交代で休日や夜間にも安心して救急医療を受けられるようにするための体制。また、信州上田医療センターが輪番制病院後方支援病院となっており、他の病院群輪番制病院と連携及び支援を行っている。

## フレイル……………(p103)

加齢に伴い、身体や精神・心理面などの活力が低下した要介護の手前の状態

## ま行

### まちなかキャンパスうえだ……………(p125)

市内5大学(長野大学、信州大学、筑波大学山岳科学センター、上田短期大学、長野県工科短期大学校)等が連携し、街中の学生活動拠点、市民と大学との共同活動を通じて地域の賑わいを創出するまちづくり拠点として運営する施設

### 「みる」スポーツ……………(p135)

「みる」スポーツとは、自分ではプレーせず、他人のスポーツ競技を観戦して楽しむ活動を意味しており、音で聴く・雰囲気を感じる・応援するなど、五感を使って体験することを含む。

### 木質バイオマスエネルギー……………(p55)

薪、木炭、チップ及びペレットなどの木材由来する再生可能な資源のこと。

### モビリティ・マネジメント……………(p66)

公共交通や徒歩などを含めた多様な交通手段を適度に(=かしこく)利用する状態を目指すこと。

## や行

### ユニバーサルツーリズム……………(p100)

高齢や障害等の有無にかかわらず、すべての人が安心して楽しめる旅行

### ユニバーサルデザイン……………(p68、109)

障がいの有無に関わらず、すべての人が快適に利用できるように製品や建造物、生活空間などをデザインすること。

## ら行

### リスキリング……………(p90、92)

業務上必要とされるスキルを新たに身につけることを意味し、必要な知識やスキルを新たに習得すること。単なる趣味の学習ではなく、職業的な成長を目的とした実践的な「学び直し」を指す。

### 6次産業化……………(p84、149)

第1次産業である農林水産物の生産のみにとどまらず、それを原材料とした加工品の製造・販売や観光農園などの地域資源を生かしたサービスなど、第2次産業や第3次産業までを一体的に行う事業活動(1次×2次×3次=6次)

### ロケ……………(p99)

「ロケーション」の略で、スタジオや撮影所ではなく、実際に屋外の街中や自然の場所などを利用して行われる撮影のこと。

## アルファベット

### ALT……………(p124)

Assistant Language Teacher (アシスタント・ランゲージ・ティーチャー)の略で、外国語授業において、日本人教員の助手としてチームを組み、授業を行う外国人教員のこと。

### BCP……………(p73)

Business Continuity Plan (ビジネス・コンティニューイティ・プラン)の略。大規模災害において施設が被災した場合、優先的に行う業務を定め、限られた職員や資器材で早期に復旧を図るための業務継続計画のこと。

### BOD……………(p54)

生物化学的酸素要求量。Biochemical Oxygen Demand (バイオケミカル・オキシジェン・デマンド)の略。川などから採水した有機物が好気性微生物により分解される過程で消費される水中の酸素量のこと。河川における有機物による水質汚濁の指標

### GX……………(p66、89、91、92)

企業や社会全体が、CO<sub>2</sub>排出を減らし、環境に優しい仕組みへと変えていく取組の総称

### ICT……………(p49、52、79、118)

Information and Communication Technology (インフォメーション・アンド・コミュニケーション・テクノロジー)の略で、情報通信技術

### IoT……………(p6、35)

家電製品や自動車、産業機器など、さまざまなモノをインターネットに接続して、相互に情報をやり取りする技術

**RPA**……………(p48、49)

Robotic Process Automation (ロボティック・プロセス・オートメーション)の略で、ロボットによる業務効率化・自動処理化のこと。

**SDGs**……………(p35、60)

Sustainable Development Goals (サステナブル・ディベロップメント・ゴールズ)の略で、「誰一人取り残さない」を理念に平成27(2015)年9月の国連サミットで採択された令和12(2030)年までの達成を目指す世界共通の目標。17のゴール(目標)から構成

**SGEC 森林認証**……………(p87)

世界的に推進されている持続可能な森林経営の考え方をもとに、日本の森林管理の実状にあわせた国内向けの森林認証制度。2003年に発足した「緑の循環認証会議(SGEC:エスジェック)」が運営しており、森林整備水準の向上と林業の活性化を目指すとともに、山林の荒廃や生態系の破壊を予防することで、持続可能な森林づくりを推進している。

**Society5.0**……………(p6)

サイバー空間(仮想空間)とフィジカル空間(現実空間)を高度に融合させたシステムにより、経済発展と社会的課題の解決を両立する、人間中心の社会(Society)

**UIターン**……………(p95、96、138、148)

都市部の居住者が地方へ移住する人口還流現象の総称。「Uターン」は都市部への移住者が生まれ育った地域へ再び移住すること、「Iターン」は都市部の居住者が地方へ移住すること、「Jターン」は都市部への移住者が出身地の近隣地域へ再び移住すること。

**VUCA**……………(p123)

Volatility (変動)、Uncertainty (不確実)、Complexity (複雑)、Ambiguity (曖昧)の頭文字をとった言葉。変化が急激で、先行きの見通しが難しいこと。

---

# ひと・まち 輝く しあわせ実感都市

第三次上田市総合計画 前期まちづくり計画

〈第3期上田市まち・ひと・しごと創生総合戦略〉

令和8年3月発行

発行・編集 上田市政策企画部政策企画課  
〒386-8601 長野県上田市大手一丁目11番16号  
TEL.0268-22-4100(代表) FAX.0268-25-4100  
上田市ホームページ <https://www.city.ueda.nagano.jp>

---



